

編 集 後 記

臨床神経学の編集委員を仰せつかってから、毎週1編を超える投稿論文を読ませていただいている。今回は、共同執筆者となられる先生方へのメッセージである。投稿論文を読んで最初に気になってしまうのは誤字脱字、ワープロによる変換ミスである。これがあると、論文の内容の吟味以前にこの論文の完成度に疑問を持つことになる。一度読み始めたときにすぐ気づくことなので、共同執筆者がきちんと読んで指導していれば、ありえないと思われることが多々ある。「査読」とは、その論文が投稿された雑誌にふさわしい内容であることを評価、検証することであって、投稿された論文の「校正」ではない。論文の内容以前に校正レベルの問題になってしまうと、せっかくの素晴らしい内容であるはずの論文に対する評価は著しく低くなってしまふ。同時に、執筆者のみならず、共同執筆者の方の評価も大きく下がることになる。

COIについても注意が必要である。査読の際にはCOIに関しては確認できないが、常識的に考えて「COIがない」とは思われない共同執筆者が含まれていることがある。執

筆者は、特に共同執筆者のCOIについてもきちんと確認しておかなければならないし、共同執筆者の方も自分のCOIについてもきちんと執筆者に告げておく必要がある。論文受諾後に発表されてからCOIが抜けていることが発覚した場合、せっかくの論文が取り下げとなることになるのみならず、社会的にも大きな問題となることになる。

論文を完成させて投稿して受諾されることで臨床研究や症例から得られた知見に関する一連の考察が完成し、公に発表されたことになる。共同執筆者はその論文について一緒に考え、結論を導き出し、新たな知見を完成させる、まさに「共同」の執筆者である責任を負っている。名前を連ねるからには責任を持って論文を完成させて欲しい。若い神経内科医を育てる責任ある立場の先生は、どしどし指導して論文を書かせ、臨床神経学に投稿してもらいたい。査読者、読者をうならせるような内容ある論文がきっとできることと思う。

(星野晴彦)

〈 編 集 委 員 〉

編集委員長 鈴木 則宏 編集副委員長 河村 満
 編集委員 荒木 信夫 飯塚 高浩 池田 昭夫 亀井 聡
 瀧山 嘉久 坪井 義夫 西野 一三 野村 恭一 星野 晴彦
 編集委員(幹事兼任) 園生 雅弘 高尾 昌樹

| | | | |
|---------|-------------------------------|-------------|--------------|
| 「臨床神経学」 | 第56巻 第8号 | 平成28年8月1日発行 | |
| 編 集 者 | 東京都文京区湯島二丁目31番21号 一丸ビル | | 一般社団法人日本神経学会 |
| 発 行 者 | 東京都文京区湯島二丁目31番21号 一丸ビル | | 高 橋 良 輔 |
| 印 刷 所 | 〔郵便番号 602-8048〕京都市上京区下立売通小川東入 | | 中西印刷株式会社 |

発 行 所 〔郵便番号 113-0034〕東京都文京区湯島二丁目 31 番 21 号 一丸ビル
 日 本 神 經 学 会

郵便振替口座 東京 00120-0-12550

TEL. 03-3815-1080 FAX. 03-3815-1931

ホームページアドレス：<http://www.neurology-jp.org/>